

深まって、行く、秋

芸術、文化、読書、



和達知男《謎》1922年頃 県立近代美術館蔵

詳しくは 23 でご紹介

秋の深まりを感じるこの季節、県立近代美術館で美術鑑賞を楽しむのはいかがでしょうか。

県立近代美術館は、昭和26年に日本初の公立近代美術館として、鶴岡八幡宮境内に開館した歴史ある美術館です。長い歳月を経て収集した作品は、その後、葉山館と鎌倉別館へと引き継がれ、その数は公立美術館の中でもトップクラスを誇る約15,000点にのぼります。

葉山館では現在、大正から昭和に移り変わる激動の時代に制作された作品による「100年前の未来：移動するモダニズム 1920-1930」展を開催しています。他ではなかなか見ることができない貴重な作品の数々が展示されていますので、ぜひ間近で

ご覧いただき、作品の放つ存在感を肌で感じていただきたいと思います。

また、一色海岸沿いにある葉山館は、庭園からの眺望も最高です。秋の涼しい潮風に吹かれながら屋外彫刻の鑑賞を楽しめるのも魅力の一つです。

美術鑑賞が初めてという方でも、きっとお気に入りの作品に出合えると思います。この機会に県立近代美術館にお越しいただき、「芸術の秋」を満喫してみてください。

神奈川県知事 梶野 祐治



芸術も文化も読書も深

県立近代美術館 葉山

葉 山館開館20周年を記念して、館名に掲げる「近代(モダン)」の文化が多様に展開した20世紀の20年代を再考した展覧会を行っています。海を眺めながら食事ができるレストラン「オランジュ・ブルー」もあり、夕景も楽しめます。

葉山館20周年記念

100年前の未来：移動するモダニズム 1920-1930

第1次世界大戦と、スペイン風邪によるパンデミックを経て美術家たちの国際的な往来が復活した1920年代は、現代の社会状況と重なるものがあります。今見ても新鮮な、100年前の「新しい美術」を体験いただけます。

- 会期：令和6年1月28日(日)まで
- 開館時間：9時30分～17時(入館は16時30分まで)
- 休館日：月曜(1月8日は開館)、12月29日～1月3日
- 観覧料：一般1,200円/20歳未満・学生1,050円/65歳以上600円/高校生100円/中学生以下・障害者手帳をお持ちの方は無料
- 交通：JR逗子駅または京急線 逗子・葉山駅からバスで「三ヶ丘・神奈川県立近代美術館前」下車徒歩1分
- 所在地：葉山町一色2208-1



古賀春江(窓外の化粧)1930年 県立近代美術館蔵

芸術の秋

【上記記事に関する問合せ】 県立近代美術館 葉山 ☎046(875)2800 FAX046(875)2968 / 県立金沢文庫 ☎045(701)9069 FAX045(788)1060 / 県立図書館 ☎045(263)5900 FAX045(241)0985

まって、行くのはどの秋

県立金沢文庫

鎌 倉時代の政治・文学・歴史などを知るうえで重要な古書や古文書をはじめ、2万点以上の国宝を保存しています。県立金沢文庫とトンネルでつながる称名寺は、鎌倉時代に北条氏が創建した浄土庭園を持つ寺院で、秋は紅葉を楽しむことができます。

金沢文庫から流出してしまっただけ『往生講私記』を取り戻し、未来に守り伝えていくため、寄付にご協力ください。

特別展
「廃墟とイメージ
— 憧憬、復興、文化の生成の場としての廃墟 —」
国宝・重要文化財など約100点の展示資料から日本における「廃墟」の文化史をたどります。

- 会期：11月26日(日)まで
- 開館時間：9時～16時30分(入館は16時まで)
- 休館日：月曜、11月24日
- 観覧料：一般700円/20歳未満・学生500円/65歳以上200円/高校生100円/中学生以下・障害者手帳をお持ちの方は無料
- 交通：京急線 金沢文庫駅から徒歩12分/シーサイドライン 海の公園南口駅から徒歩10分
- 所在地：横浜市金沢区金沢町142

文化の秋

昨 年9月にオープンした新しい「本館」には、読書に没入できる「静寂読書室」やゆったりとした時間と空間を楽しめる「ザ・リーディングラウンジ」など、さまざまなエリアがあります。4階の生涯学習相談デスクでは、一人一人の学びのスタイルに合わせて、次の一歩のための情報提供やアドバイスをしています。

- 開館時間：火曜～金曜 9時～19時 土・日曜、祝・休日 9時～17時
- 休館日：月曜(祝日の場合は開館)、第2木曜、年末年始、資料総点検期間
- 交通：JR・市営地下鉄 桜木町駅から徒歩10分
- 所在地：横浜市西区紅葉ヶ丘9-2

県立図書館 読書の秋

司書が個々にテーマを決め、本をセレクトしたミニ展示「司書箱」を館内17カ所に設置しています。館内を探検しながら、本との新たな出会いをお楽しみください。

学びstyleかながわ

学びに関する情報を紹介・提案するサイト「学びstyleかながわ」もご活用ください。



県立図書館司書 河村 知佳

9月補正予算が議決されました

一般会計	9月補正予算額	9月現計予算額
	116億円	2兆2,950億円

- ▶ 農業者の肥料購入に対する補助 5,429万円
- ▶ 畜産農家の飼料購入に対する補助 7,614万円
- ▶ 「こどもまんなか社会」の機運醸成に向けた取り組み 2,988万円
- ▶ 特別支援学校における1人1台専用タブレット等の整備 2億776万円

- ▶ 新型コロナウイルス感染症に対応する介護施設等に対する支援 56億3,417万円
- ▶ 上記支援のための地域医療介護総合確保基金積立金 56億3,417万円
- ▶ 高齢者施設における非常用自家発電設備の整備 2,473万円



【上記記事に関する問合せ】 県財政課 ☎045(210)2266 FAX045(210)8805

職員の給与のあらまし

職員の給与は、県内民間の給与との比較を踏まえた県人事委員会勧告に基づき決定しています。

職員の平均給料月額状況

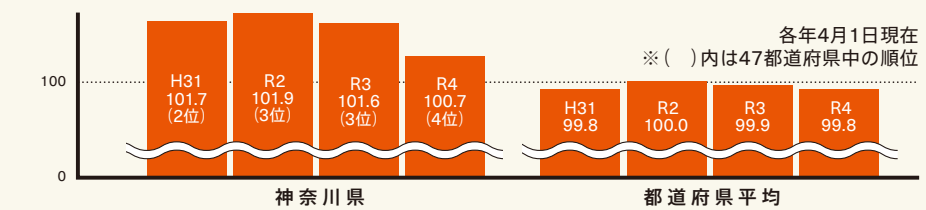
令和5年4月現在
一般行政職
▶ 平均給料月額 321,965円
▶ 平均年齢 42.9歳

〈参考〉一般行政職の税引き後の平均給与年額
平均給与年額 税金等年額 税金等控除後
627万円 - 129万円 = 498万円

- 一般行政職：行政職員から福祉職、企業職等を除いた職員区分 職員数8,837人
- 平均給与年額：期末・勤労手当等諸手当を含み、時間外勤務手当等は除く
- 税金等年額：所得税、住民税、共済組合掛金を配偶者および子ども2人の家族構成で試算

ラスパイレズ指数の状況

ラスパイレズ指数とは、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給料水準を示す指数であり、民間の給与の高い地域ほど高くなる傾向にあります。



職員の給与・職員数の詳細は、12月にHPに掲載します。

【上記記事に関する問合せ】 県人事課 ☎045(210)2180 FAX045(210)8803

「鮎沢川が織り成す溪谷美」

(写真:海老名市・池田 健一さん)

山北駅から車を少し西方面に走らせた所に鮎沢川(酒匂川)と紅葉が見られる場所があります。
(令和4年11月撮影)

■場所:山北町

投稿写真募集中!
詳しくは④をご覧ください



編集/発行(毎月1日発行)
〒231-8588 横浜市中区日本大通 1
神奈川県 政策局 知事室
☎045(210)1111(代表)
☎045(210)3662 FAX 045(210)8834



県公式X(旧Twitter)
@KanagawaPref_PR

※記事は10月16日時点の内容であり、変更になる場合があります

あーすフェスタかながわ2023



詳しくはこちら

- 日時:12月3日(日)10時~17時 ●場所:象の鼻パーク、県庁本庁舎大会議場
- 交通:JR・市営地下鉄 関内駅から徒歩10分 / みなとみらい線 日本大通り駅県庁口出口から徒歩3分

外 国籍県民、県内の民族団体、NPOや大学生などのボランティアからなる企画委員が、「みんなで育てる多文化共生」をテーマに、それぞれの文化や考え方を理解し、共に力を合わせて作り上げるイベントです。

内容

- ▶世界の歌や踊りのステージ
- ▶多文化共生を体感できるワークショップ ~世界の遊び、切り絵体験など~
- ▶多文化共生を考えるフォーラム
- ▶世界のグルメを楽しめるキッチンカー など

あーすフェスタかながわ2023企画委員長
なかむら 中村 ノーマンさんからのメッセージ

あーすフェスタかながわが外国人と日本人との共生を考えるきっかけの場となり、共生社会に向けた一人一人のアクションが生まれることを期待しています。



【上記記事に関する問合せ】県国際課 ☎045(285)0761 FAX 045(212)2753



子 どもたちを虐待から守るためには、周囲の皆さんの“気づき”がとても大切です。「もしかしたら虐待かもしれない」と思ったら、迷わず☎189(いちはやく)に連絡してください。

児童虐待は「いつでも」「どこでも」「誰にでも」起こり得るものです。子どもや保護者のささいな変化に「まさか」「そんなはずはない」と見過ごさないで、注意深く見守る視点が早期発見の第一歩となります。

かいしま ともあき
県子ども家庭課 主査 開嶋 智明

子育ての不安やしつけ、親子関係など、子育てをする中で少しでも困ったことがあったらご相談ください。

いちはやく おなやみを
☎0120-189-783

児童相談所相談専用ダイヤル(24時間365日対応)
(匿名での相談も可能です。秘密は厳守します。)



LINEでも相談できます

かながわ子ども家庭110番相談LINE
(月曜~土曜 9時~21時 年末年始を除く)

※虐待通告は、☎局番なし189番へお願いします。

11月は児童虐待防止推進月間です

【上記記事に関する問合せ】県子ども家庭課 ☎045(210)4655 FAX 045(210)8868

ともに生きる:

こばやし たかひろ
\今月は、Eriii's Cafe(エリーズカフェ)代表の小林 貴大さんに伺いました!/\



子ども食堂で地域の方と交流!

川崎市宮前区にある「エリーズカフェ」は、障がい児・者の日中一時預かりと子ども食堂を営んでいます。子ども食堂の立ち上げは、エリーズカフェに通っていた方からの「もっと地域の人たちと交流したい!」のひと言がきっかけでした。障がいのある方だけでなく、子どもも含めた地域のさまざまな方が集う場所にしたいと考え、障がいのある方と一緒に子ども食堂をスタートしました。毎月一回開催し、今では多くの子どもたちをはじめ、学生ボランティアや地域の方、企業の方に参加していただいています。これからも皆さんとの交流を深めながら、いつか「エリーズカフェがあってよかった」と思ってもらえる場所になれたらと思います。



エリーズカフェについて
詳しくはこちら



エリーズカフェ代表
小林貴大さん

このコラムでは、「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念に共感していただいている方々のメッセージをご紹介します。



ともに生きる社会
かながわ憲章

ともに生きる社会 かながわ憲章 平成28年10月14日 神奈川県

- 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

憲章については
こちら



【上記記事に関する問合せ】県共生推進本部室 ☎045(210)4961 FAX 045(210)8854